

平成 30 年度学校事務（事務長）研修会（1 日目）報告書

期 日 平成 30 年 6 月 28 日（木）～29 日（金）

記録者 日本大学三島高等学校・中学校事務課長 関野浩二

1 日目スケジュール

6 月 28 日（木） 12：45 静岡駅北口広場・静岡北高校バス乗車所
13：15～13：30 集合・受付
13：30～13：50 「静岡地震防災センター」へ移動
開会あいさつ，日程説明，諸連絡
14：00～16：00 防災センター施設見学・体験及び防災講話
16：00～16：30 「ザ・ガーデンテイル」へタクシーにて移動
16：45～17：45 「ザ・ガーデンテイル」にて
分科会①「各学校における防災対策について」
18：00～20：00 夕食懇談会（新事務長紹介含む）
終了後，宿泊先「静鉄ホテルプレジオ」へ移動

I 静岡地震防災センター施設見学・体験及び防災講話の記録

- 1 映像見学 ①東海地震の被害を想定した津波のシミュレーション映像。
②東北沖地震の実際の映像。
上記映像視察後，担当者より津波の怖さについて，津波に対する心得として「すぐに非難する」「自分の命は自分で守る」ことの大切さについて説明があった。
- 2 津波マップの説明
① L v.1 と L v.2 に分類され，特に L v.2 については 1,000 年に 1 度起きるが大きな被害が想定される。ちなみに清水・焼津には 2 分で津波が到達されるといわれている。
② 4 次想定について災害時の行動・非常時持出品，備蓄品，耐震化（家具等の転倒防止）等について説明があった。
- 3 地震ザブトンによる体験
① 参加者の中から 6 名が東北大震災，阪神淡路大震災，熊本地震等の揺れを体験した。防災の心得として何もしなくてもよいように「そなえる」ことが大事であるとの説明があった。
- 4 センターセカンドアドバイザーによる講話
① 大地震に備える

- ② 大阪北震災の被害状況について
- ③ 東海沖地震の想定被害金額・状況について
- ④ 防災力（国・市・町，住民各自，地域，及び学校・職場での対応）について説明があった。
- ⑤ リスクの把握
 - （1）身の回りの危険（ハザード）を知り，わが身にどのような影響（リスク）があるかを把握する。
 - （2）過去の被害から学ぶ。
 - （3）リスクに対応した対策を行う。以下その対策。
 - ・家具等の下敷きによる圧死者が多い。
 - ・ハザードマップの確認。（特に学校周辺）
 - ・教職員の意識改革。
 - ・身を守るための対策。
 - ・発生後の対策。

平成 30 年度学校事務（事務長）研修会（2 日目）報告書

期 日 平成 30 年 6 月 28 日（木）～29 日（金）

記録者 静岡西遠女子学園中学校・高等学校事務長 山田

2 日目スケジュール

6 月 29 日（木）

～9：45	静岡県私学会館移動 5 階大会議室
10:00～12:00	講 演 「昨今の労働法改正の動向と管理者が知っておくべき労務管理」 講 師 糀谷 博和氏（社会保険労務士）
12:00～13:00	昼 食
13:00～14:30	分科会「視察・講演内容中心に学校事務全般」 4 グループにて実施 3 階小・中会議室
14:30～15:00	発 表 5 階大会議室
15:00～15:10	外郭団体からのお願い「損害保険ジャパン日本興和損保㈱」
15:10～	閉会式 解散

I 糀谷先生による講演

- ・労働法の改正に伴う「働き方改革関連法案」について資料を用いて、行政の動向や実際の判例等を分かりやすく解説いただいた。
- ・参加者から 36 協定や勤怠管理及び部活動や補修手当、休日の与え方等、様々な質問が出され、活気ある講演会となった。
各参加者からも参考になったとの意見も多数あった。

II 分科会

- ・糀谷先生の講演の内容を踏まえてグループごと意見交換等を実施した。

【主な内容】

- ・変形労働時間制について
- ・時間外労働
- ・36 協定について
- ・タイムカード導入について
- ・クラブ活動（課外授業）手当について
- ・有給休暇取得について
- ・有期雇用、無期雇用対応について

各グループごと発表と質疑実施

等々真剣に議論、意見交換がなされ大変有意義な分科会となった。

Ⅲ 外郭団体からのお願い「損害保険ジャパン日本興和損保㈱」

・「自転車総合保障制度」

契約者：学校 最大3億円までの補償、自転車保険加入義務を満たす

Ⅳ まとめ（アンケート記入）後 解散